

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	社会体育課(社会体育担当)	事業区分	■実施計画 ■重点プロジェクト
事務事業名	みらいのアスリート応援事業	事業番号	12334

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-8	スポーツ活動の推進
	施策目標	誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち	

2 事務事業の目的

目的	スポーツの分野において、日本国内並びに世界で活躍するみらいのアスリート目指し、更なるレベル向上のため全道大会以上の大会に参加する市内の小学校、中学校及び高等学校に在学する児童及び生徒に対して市が支援を行い、遠征費の負担軽減、児童・生徒の意識の高揚、地域で応援する機運の醸成を図る。
成果	平成27年度実績 31件助成（助成団体数17団体） 引率49名 選手166名 子育て世帯の保護者負担の緩和が期待される。
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他
事務区分	■自治事務 □法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	大会遠征費に対する補助金交付・大会参加及び結果の情報発信						
	28	大会遠征費に対する補助金交付・大会参加及び結果の情報発信						
	29	大会遠征費に対する補助金交付・大会参加及び結果の情報発信						
	30	大会遠征費に対する補助金交付・大会参加及び結果の情報発信						
	31	大会遠征費に対する補助金交付・大会参加及び結果の情報発信						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		2,994	4,000	5,000	5,000	5,000	21,994
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	2,994	4,000	5,000	5,000	5,000	21,994
		一般財源						
	人員(人工)		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員費(人員×8,081千円)		2,020	2,020	2,020	2,020	2,020	10,100	
総事業費		5,014	6,020	7,020	7,020	7,020	32,094	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	みらいのアスリート補助交付団体数(年間)	25件	35件	35件
	みらいのアスリート補助交付人数(年間)	180人	250人	250人

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

補助基準の変更(条件付きで貸切バス料金も対象)、補助単価の変更(宿泊費の上限を6,000円に増額)、補助率の変更(1/2から2/3に改定)。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	保護者の負担軽減、児童・生徒の意識の高揚並びに地域で応援する機運の醸成を図る。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 近年、各競技の全道大会が増加し出場機会が増えたこと、また貸切バス運賃の値上げなどで、遠征費が増え保護者負担が増大している。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 「市民一人1スポーツ」を推進するため、児童・生徒のスポーツ振興及び体力向上を図り、併せて保護者の経済的負担の軽減を図る必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 保護者の経済的負担軽減を図ることで、「市民一人1スポーツ」への市民意識の向上が醸成される。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 実施要綱に基づき、補助金を交付している。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 予選で全道大会及び全国大会の出場権を得た団体・個人を補助対象にしている。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 保護者の負担軽減を図ることで、児童・生徒のスポーツ活動の継続性を図る。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 概ね5年以内を目処に、単なる補助金交付にとどまらず、児童生徒の育成に資する事業の在り方について再検討されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input checked="" type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 従来行っている遠征費に係る補助金交付のほか、今後、定期的に各競技の著名な指導者を招へいし、技術講習会等の開催について検討する。 また、補助申請から補助確定後の補助金の交付まで、一連の事務申請が必要であるが、申請者からこの申請事務が煩雑であるとの意見を多々受けており、他都市(釧路市等の都市)で行ってる手続きが簡素な交付金として交付するなど善後策の検討が必要である。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	社会体育課(社会体育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	旧華岬小学校整備事業	事業番号	12534

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-8	スポーツ活動の推進
	施策目標	誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち	

2 事務事業の目的

目的	地域の少年団や市民のスポーツ活動の場のため旧華岬小学校校舎・体育館を改修し、市民一人1スポーツの推進を図る。
成果	歯舞スポーツセンターとして平成27年10月1日にオープンすることにより、地域の少年団や市街地の市民の利活用の活性化が期待される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	旧華岬小学校校舎・体育館を改修し、歯舞スポーツセンターとしてオープン(事業完了)						
	28							
	29							
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		22,439					22,439
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		22,439					22,439
	人員(人工)		0.10					0.10
職員費(人員×8,081千円)		808					808	
総事業費		23,247					23,247	
維持管理	管理主体		根室市教育委員会					
	運営方法		直営(指導員・清掃員の配置)					
	維持管理費	施設維持費	2,460	1,718	1,718	1,718	1,718	9,332
		概算人件費	404	745	745	745	745	3,384
合計/年		2,864	2,463	2,463	2,463	2,463	12,716	

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	歯舞スポーツセンター利用者数	(未実施)	5,400人	5,400人
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	地域の少年団や市民のスポーツ活動の場を提供することができ、市民一人1スポーツの推進を図ることが出来る。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない スポーツ活動の場が限られているため、活動の場の確保が求められている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 「市民一人1スポーツ」を推進するため、市が適切に管理する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない すでに地域のスポーツ少年団が使用しているなかで、体育館が雨漏りしており、床面が滑り、転倒による怪我をする危険性が高いため。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 効果的・効率的な管理運営が図られる。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 市民誰もが、スポーツ活動ができる場が確保できる。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 市民にスポーツ活動の場を提供することで、「市民一人1スポーツ」の推進を図る。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【速やかに実施】 地域の少年団や市民のスポーツ活動の場として有効活用がなされるよう、施設の管理運営に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する アンケート調査を実施するとともに、利用者増に向け、より一層の市民一人1スポーツの推進を図る。

作成年度

平成27年度